



Baby-mo

「食」がつくるく子どもの未来)
子どものために、いま私ができることを

主婦の友社
育児教育事業部 Baby-mo編集部
コンテンツ営業部 メディア営業部

お問い合わせ:

コンテンツ営業U 西小路・広部
Tel:03-5280-7567
Mail: business@shufutomo.com



主婦の友社

メディア営業部U 木村・北嶋
Tel:03-5280-7510

■Baby-mo WEBとは

Baby-mo WEB: <https://babymo.jp/>

メディア規模: 月間PV 約290万 月間UU 約62万

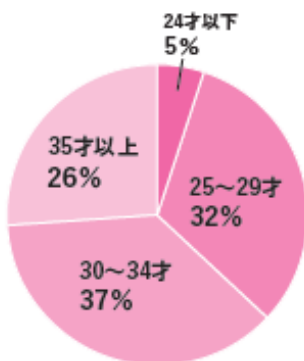
Baby-mo

読者データ

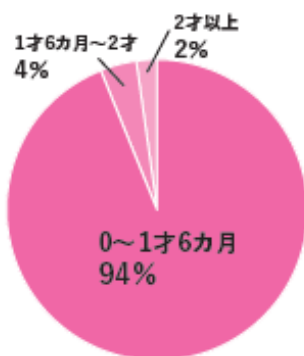
0~2才のベビーのいるママ
発売月: 6月、9月、12月、3月

平均年齢/30.3才 1人目ベビー 81.2%
世帯年収/平均710万円(厚生労働省発表の全国平均560.2万円)

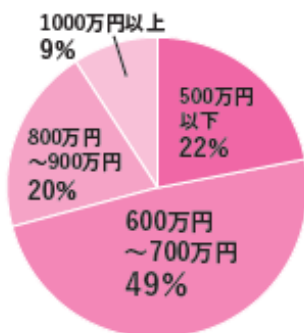
【ママの年齢】



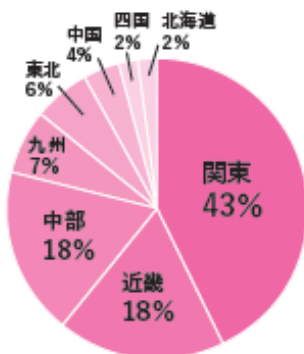
【ベビーの年齢】



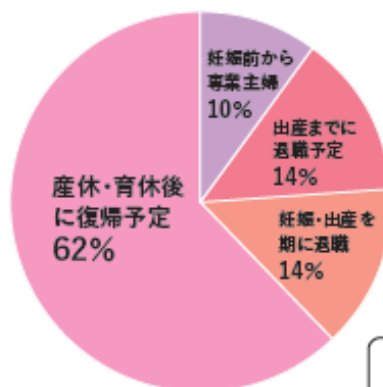
【世帯年収】



【地域】



【就労状況】



絵本の読み聞かせをして、豊かな心を育てたい!

子どもと一緒に
お出かけて、思い出を
いっぱい作りたい!

離乳食、いつから
始めればいい子?

子どもの発達、
健康が一番気になる!

親子で楽しめる
お出かけスポットが
知りたい!

ママも子ども
スキンケアは重要視!

センスのいい
写真館を知りたい!

大都市圏在住のママが多く、
アクティブな読者です!

働きながら子育てするママが6割以上! 家事・子育ては効率重視。
子どもの健康や成長が一番の気になり。絵本や発達を促すおもちゃ、
時間がない中でも家族で楽しめるスポットや手段が気になる!

「食べる」ことは生きるための基本です。
丈夫な体と心を作るだけではなく、豊かな人間性を育み、
様々な才能を開花させることができるのも、健全な「食」があってこそ。

ところが今、子どもの栄養不足や味覚障害が指摘されたり、
孤食や個食が当たり前になるなど、
子ども達の「食」をめぐる問題が数々浮かびあがっています。

このままでは子ども達の未来が危ない——。
私たちは、そんな状況に大きな危機感を抱いています。
Baby-moWEBでは、パパ・ママ達とその危機感を共有しながら、
子ども達の「食」をより豊かなものにするための正しい知識や情報を伝えて
参ります。

■子どもにとって「食べること」とは

① エネルギーの摂取

「健康維持・増進」と「発育・発達」に不可欠

② コミュニケーションの場

- ・食事を通して大人（親や保育士）とかかわる＝「人」への安心感や信頼感の醸成
- ・大人を交えた食事でのやり取り→コミュニケーションや社会性の育成

③ 教育の場

- ・食習慣、生活リズムの形成
- ・「自分で食べること」＝食べ物の判断&食べることへの意欲

出典：

「保育所における食事提供のあり方」

(4) 第2章・第3章 保育所における食事提供の意義とその具体的なあり方 [902KB]



■「子ども」と「食」のいま

課題①

栄養摂取の偏り

子供の肥満が増加傾向にあり、生活習慣病になる子も。
また、3人に1人がのママが子どもの偏食に悩んでいるのが現状。
8割が「新型栄養失調」のリスクがあるのだそう

課題②

子どもの味覚異常

苦みや甘み、酸味などの基本的な味覚が認識できない子供が
3割以上に上るという調査結果も。そうした子供たちは野菜の摂取が少なく、
加工食品など濃い味付けを好む傾向が。

課題③

「孤食」で「子食」が増加「孤食」をはじめ7つの「こ食」が問題となっている。
それにより栄養バランスがくずれたり、正しい食べ方マナーが身に着かない、
コミュニケーション能力が育たないことにも影響あり。

こうした問題が、子供の心身の健全な発育を阻害したり、
「食」そのものへの興味を失わせることに。

そこでBaby-mo WEBでは、パパ&ママに問題提起を行い、
子供たちの明るい未来のため、豊かな食生活のあり方を考えていきます。

■展開イメージ

【Baby-mo Webでの展開】

特集「食がつくる、子どもの未来」を展開

<https://babymo.jp/series/detail/kodomonomirai>

- ・「子どもの食」特集制作（特集詳細は次のページへ）
孤食問題、フードロス、アレンジレシピなどをテーマに、
子供の体や心を健康に育むための「食」の在り方や食育の形を提案。
- ・食に関するエシカルについても情報発信していきます。



【展開イメージ】

子どもの体や心を健康に育むための「食」のあり方や、食育の形を提案する記事を特集内に格納。
フードロスや食に関するエシカルなどについても提案していきます。



トップページにバナーを設置。記事をまとめて紹介するランディングページを作ります。



特集詳細は次のページ

① いしづかかなさんが実践!「モンテッソーリ×食」で育む子どものチカラ

国際モンテッソーリ協会公認教師の資格を持ち、自宅で親子教室を開催している料理研究家・いしづかかなさんの連載企画。

モンテッソーリの考えに基づき、食を通してどのように子どものチカラを育てていけばいいかを具体的に教えていただきます。

記事例 <https://babymo.jp/articles/detail/1767>



② 子どもの味覚が危ない!3歳までに親がやるべきこととは?

取材:食育スペシャリスト・とけいじ千絵さん <https://www.shinshokubigan.com/>
濃い味や人工的な食品を食べ続けるとどうなるのか。

子どもの繊細な味覚を育てるためにはどうしたらいいのか。

子どもの好き嫌いを克服するコツを取材。

③ 脳育てには食が重要!専門医が提唱する「子どもの脳が変わる食べ方」とは?

取材:みぞぐちクリニック院長・溝口徹先生 <https://mizoclinic.tokyo/doctorblog/>
キレル、落ち着きがない、不登校…は食べ物が原因という溝口先生。

子どもの心のトラブルには「脳アレルギー」がかかわっているケースが多いそう。

子どもの脳を健全に育てる食生活のあり方を取材。

■企画料金

基本プラン

- ・特集内に商品(企業)ご紹介記事 | 記事制作(定価:G | 50万円)
想定PV数→5,000PV
- ・Baby-moWEB 認定ロゴ贈呈→1年使用可
- ・Baby-mo 公式SNSでの投稿 | ポストサービス

合計:G | 1,000,000円



オプション

+

- ・Baby-moWEB記事を誌面に転載 4CIP制作 : G50万円
- ・動画制作:G | 00万円~/1本



メディア概要 Baby-mo、Baby-mo Web



Baby-mo

3・6・9・12月15日発売
編集長:大隅優子
創刊:2002年10月
年部数:17,100部(日本雑誌協会算定)

0~2歳のパパママに向けた、初めての育児を経験する方でも分かりやすい情報を提供する雑誌です。



Baby-mo Web

編集長:村井未来
ローンチ:2021年8月
月間PV/UU:295万PV/62万UU

妊活~妊娠・出産~育児まで、「Baby-mo」ワンブランドで「安心」「信頼」のコンテンツを発信

主婦の友社 会社概要

主婦の友社は生活者とともに105年——。変わらぬ信念は常にお客さまとともにあることです。



グッドコンテンツによって、すべての女性の
幸福を実現する企業
関心・親切・安心・ていねい 主婦の友

創業から105年。主婦の友社の理念は、雑誌「主婦の友」創刊のときから現在まで変わっていません。愚直に「すべての女性の幸福」を追求し続けてきました。また、現在主婦の友社が女性たちにアプローチする方法は雑誌だけではなく、書籍、WEBコンテンツや商品開発と多岐にわたります。

これからも、あらゆる手段を駆使して女性にアプローチし「すべての女性の幸福」を追求し続けること。それが主婦の友社の使命です。

- Company Profile -

創業 1916年
資本金 1億円
売上高 66億円(2020年3月期)
従業員数 124名(2020年4月時点)

所在地 品川区上大崎3-1-1目黒セントラルスクエア
社長 平野 健一

01

7誌の雑誌と年間400冊以上の書籍・ムック刊行
✓ティーンからシニア層まで、幅広い年齢層をカバー
✓実生活で役立つあらゆる実用分野を網羅

02

100年間培っている編集力&記者力をアウトプットして提供
✓読者や生活者の目線に立ったコンテンツを制作
✓時代や時流をきりとる表現力

03

億を超える保有コンテンツから様々なリソースの提供
✓信頼・安全・質の高い記事・著者・編集者
✓需要者・必要とする企業のPOINTを押さえた提案力

Thank you.



主婦の友社